

# ああ、結婚！

## —婚活日記—

### 第9回

黒田長宏

退会した2つは、マッチングしたのに既読でも返事が来ないというわけのわからない人達が4人もいて、最終通告で待っていても来ないし、他の人も新たにマッチングしないし、退会した。

それでも1つだけは残した。何もないよりは希望はある。と思いたい。結局、15名とか少ない人もいるが、競争率が15名分だし、100人なんて人はざらにいて、競争率100倍では他の人に向いてしまうだろう。ここに婚活にも問題があると思った。私が起業出来たら、この競争率を作らない。こちらで選んで1対1マッチングさせてしまう。だが、他人の仲人ばかりして、私自身が独身では変である。なんとかして私自身が結婚しなければとは思いつけている。

<12月13日>

結局、ネット婚活は8つから1つに絞ったが、結婚難者の結婚は難しいのを体験し、それなら結婚難者をターゲットにした婚活を起業しようじゃないかということで、起業コンサルタントの先生とこれまで8回くらいお会いして相談してきた。そこで、優先的に行うことは、なんらかのメディアでそれらを広告することだと思い、選定に入ろうと思う。ホームページ開設までにクリアすべき課題を3つ設定した。それには広告するのが効率的だと思う。

<12月25日>

私のテーマは、少子化や不倫報道や援助交際や婚外性交渉などの性の多様化に対する疑問であり、とにかく、結婚難の人への対人援助を真っ先に考えたいと夏から起業相談に行っているが、今日はブレインをしてくださっている2人と会議をして、来月にはホームページが出来る状態にしたいと思う。私自身がかなりのわけありのバツイチ独身ではあるが、この社会状態では、私自身がアピールしていかないと変わりようがな

<2018年11月19日>

8つでスタートしたネット婚活だが、とうとう3つになり、次の休みに動きが無ければ1つに絞ろうと思う。動きとお金が無い。結婚難を解決する起業について経営コンサルタントの先生に幾つもメールしている。次は10日後だが、気になることはメールしてしまっている。

<11月21日>

ネット婚活は1つだけ残そうとしたが、1つは終わらせられたが、もう1つも終わらせようと思っていたのが、けっこう見にくるだけは見に来ていたので、そこが一番お金がかかるが残そうと思った。しばらくネット婚活2つやっぺいようか。

<11月23日>

意気揚々と8社も登録したネット婚活だが、徐々に減らし、今日、とうとう残り1つにした。

い。アピールしても変わらないとしても、しないよりはましである。というより、変わらせた。ただイメージが形にはなりそう。

<1月13日>

祖母が亡くなってちょうど1年ということで、祖母の弟、祖母の娘たち、亡き祖父の妹のうちの二人がきて、墓参りと昼食としゃべっていった。その間に、起業のための名刺をつくった。祖母のちょうど1年ののちに、自分の名刺が出来るとは。

<1月17日>

一昨日は古本を買いすぎで母親が怒り、喧嘩になっていたが、昨日職場から帰ると、近所のおじいさんが85歳で亡くなったと言ってきて喧嘩が終わっていた。しかし、22日に大事な起業相談の日と葬儀が重なったため、私は通夜にだけ出るために明日は同じ作業の人に、休日と出勤日の交換が出来るかきくことになった。祖母のことで一年が過ぎたら近所である。これがタイミングなのか。部落も15軒前後だが、近所づきあいのない私は緊張する出来事だ。母親は私と違い、社交は普通に出来る人である。ただ73歳になり、高齢化してしまった。私もそうだが、孤立死などが増えているのだろう時代である。それぞれ近所の人亡くなったのも、起業も関連していると思う。

<1月22日>

明日が大安心なので、明日に起業しようと思う。今日はブレインになっていただいた2名の方に、最終調整をしていただいた。感謝、感謝。

<1月23日>

今日は、私が51歳の平成31年1月23日。数字を並べると「恋、妻、1、2、3！」と読める人は

読める気がする。そして、税務署に行ってきた。婚難救助隊をとうとう登録してきた。税務署では緊張していたが、隣のおじさんがスタッフに怒り出したので緊張の糸が切れて余裕が出てしまい、そのスタッフに書類を確認してもらい、「有名になりますから待っててくださいね……。待ってなくてもいいですけど」と、ふざけた捨て台詞を残して、その後10年来お世話になっている某お店屋さんに名刺を渡し、帰宅して昼寝した。この号が出るころは、きっと「婚難救助隊」で検索すれば、出てくるような気がする。もう陽が沈んでしまった。明日からまた勤務だ。

<2月6日>

連休で、昨日は昨夏から月2回、水戸市まで往復4時間、走行距離170キロも費やして、経営コンサルタントの先生のご指導を受け、婚活をしてさえ、結婚が難しい人達の援助をどうしたら良いかというサイトを形成した時点で、いったん、水戸市通いは年に数回の不定期になる状況となり、今日は経営コンサルタントの先生に経理面の幾つかを教わってきた。先生は終了だねと言ったが、私は仮免ですよと返した。しかし、この先生も同い年であるが、離婚裁判時の弁護士の先生も同い年で両者とも同じ地域の出身者であった。面識はないということだったが、不思議と言えば不思議な偶然である。そこは、日本一か次かを争うような農業地域である。私は、農家の長男として生まれたが、農業にいまいち興味がわかず、コンプレックスで、食品会社や種苗店などを転職してしまったのが30代までであった。最初が出版社だったが、そちらのほうが文学部出身者でもあるから私の方向性かと思ったが、30代までの数多い転職のうちで、広告の企画営業もしたが、その経験は、今後の不器用な男女を優先する婚活事業に役立つかも知れない。ただ、当時より精神的な要素が大きいのだろうかスタミナが落ちた感じがしている。テレビで作家

の北方健三氏が65歳から衰えを感じたと語ったが、個人差があるのだろう。ただ、女性サイトを中心とするので、Facebook 広告やツイッターの告知によって、体力面をカバーできる時代だと思っている。実際にこの事業が動くには、他力的であるが、参加して下さる女性会員となる方々が数人でも現れてくれた時点で、私などより運営力を発揮してくれる推移をたどると信じている。その時点から、私は不器用男性のほうをどう探すか、誠実な不器用男性なら応援したいが、悪質な男性の場合はどう対応すれば良いのか。まだまだ動く前から、課題は多いだろうと予想している。

## <2月6日の2>

グーグル検索でも『婚難救助隊』で出るようになった。マイクロソフトの検索のほうでは、この文章を書いている時点で、水難救助隊が出てきてしまうだけなのだが、検索はグーグルの割合がどれくらいあるのだろう。Facebook 広告のおかげもあり、私のカウントも入ってしまうので目安としてみるべきものだが、カウンターも100を超えた。開設10日間くらいでカウンターが100を超えるというか、開設前に30くらいあったかも知れず(笑)、それでも70も増えたとしたら上出来な発進だと思いたい。午前中は銀行にいった、口座も作ってきた。あとは広告していったらどうなるかである。実際に会員が入ってくれたとしても人間関係が生じるので、大変だろう。それでも、結婚したい人が結婚できる社会のほうが良いと思うので、私はこれをライフワークにする。生きている限り続ける。まだビジネスとしては動いていないが、一段落は一段落だと思っているので、まだ締め切りまでであるが、今回はここまで。